



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 26 年 11 月 29・30 日(土・日)
宮城県南三陸町の復興朝市に参加 編

●感銘を受けたこと

・東日本大震災後、現地を視察するのは2回目(前回は大船渡)という情けない現実。3年8カ月経っても何も変わらない破壊したままの線路が痛々しいものでした。でも、人々はたくましく、底抜けに明るかったことに驚き感動しました。
・2年前、藤村望洋先生に講師をお願いして以来先生の「ぼうさい朝市」の実践を何時か！という思いが叶い、岡山(笠岡)大阪、山形(酒田)の皆さんと交流出来たことは大変有意義でした(みんな凄い人たち！)

●興味深かったこと

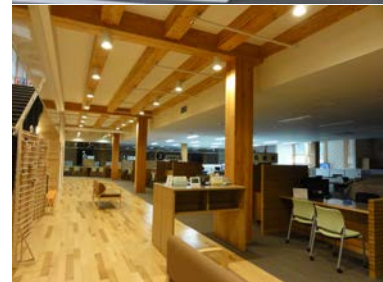
・南三陸に行く前に視察で立ち寄った岩手県住田町の新築木造庁舎。「森林・林業日本一の町づくり」としてそれを誇りに思い建てられた庁舎は大変素晴らしく、コンパクトで無駄なく、機能的でした。住民との対話(ワークショップ)はどのくらい行われたのでしょうか。能代市な新庁舎が楽しみです♪
・藤村先生の北前船の寄港地を繋げた「ぼうさい朝市」プロジェクト。先生の震災の前から実践し先駆けとなった「市」は視点は違うけれど、まるで「釜石の奇跡」のようで興味深いものでした。その企画に素晴らしい女性達、何より首長である佐藤町長の存在は迅速な対応だったに違いないと思います。震災後41回を数えるこの朝市に参加出来たことを誇りに思います(岡山、山形は30回以上)。

●面白かったこと

・私達、東北人には関西弁がとても新鮮。「ごみナビボランティア」で三重県伊勢市に行って、感じた時と同様の明るい朗らかさが楽しい。新参者の我々にさりげない心遣いをいただき、人の優しさが身にしみました。何事も「顔の見える間柄」を作ることが大切。出会いに感謝に感謝です。物販に関して、どんな物流、販路を開拓すれば良いのかも、楽しみながら学んで行きたいと思います。

●NWの活動に活用できそうなこと・やってみたいこと

・NWに所属したからこそ、貴重な出会いがあることを、まず感謝したいと思います。我々は「木」にこだわったまちづくりをしてきました。南三陸町(志津川、歌津)は4,300世帯のうち3,300世帯が流され、2,800棟が再建。1,000棟(公営)の



完成したばかりの住田町の木造庁舎。町内のスギとカラマツが多用され、空調燃料にも木質ペレットが使われています。



1階待合スペースの一角に配された木製遊具のある木育ひろば(上)。エントランスホールには全国児童・生徒木工工作コンクールの素晴らしい受賞作品が幾つも展示されています(下)。



高台から見下ろす南三陸町の市街地。以前のまちなみが想像できないほど広大な何も無い土地が広がっています。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

ち 200 棟が木造とのこと。仮設住宅も木で作られたものは、優れているように思います。木材高度加工研究所や市の力をお借りしながら被災地のお役に立てたらと思いました。やってみたいことも沢山ありますが、担い手と資金調達の確保が難しいように思います。南三陸にNWの機材を使ったイベントができればいいですね♪

●その他

何も無くなくなってしまった海辺の町にとトラックやローダーが走り「まち」は変わろうとしています。時計はあの時のまま止まっています。災害は何時どこに起こるか分からず、明日は我が身の日々です。国は防災から減災へと啓発し、地域の役割を強調。人任せにしない実践が求められています。NWは8年前からこの正しい行いを続けてきました！今、広域的連携が求められています。地域に、この活動への理解が広がることを願って止みません。

文：能登 祐子

●感銘を受けたこと

住田町役場について：森林・林業日本一を目指すというにふさわしい庁舎だった。木をふんだんに使用して、わかりやすく町民に便利な工夫があちこちに見られた。木質ペレットボイラーを使うなど、環境にやさしいところが良かった。町のショールームのような庁舎で、能代でも木の新しい提案ができるところがほしいと思いました。

復興朝市に参加して：南三陸町の今を短い時間で見ることができた（復興まだ 20%）。大阪・岡山・酒田の長い支援のようすに感銘を受けました（町長や山内実行委員長のお話も）。「能代から」というと「バスケットが有名ですね」という人が多くて、改めて「能代」って？と思った。翁飴を購入してくれた町の宮司さんが写真を撮ってくれて、わざわざ送ってくれて感動しました。

●NWの活動に活用できそうなこと・やってみたいこと

復興支援も兼ねて「南三陸復興タコの会」の製品を実際に見ることができたので、今のところ個人商店としてこれを仕入れることとした。イベント時などでこれを利用していったらどうかと思う。

文：平山 はるみ



NW は初参加。朝市常連の笠岡や酒田の方々に、参加のきっかけとなった藤村望洋さんからご紹介いただきました。



NW では米・野菜や加工品のほか、木工品も販売しましたが、真っ先に完売となったのはモコモコ帽子 2 千円！能代での朝市とは品揃えを変える必要があるのかも。



岡山県笠岡市の着物の古着店(上)や南三陸町ののり店(下)。気になったお店と平時から win-win となるようこれから連携していけるといいですね。